



No. **27**
15.May.2013

日本ホスピス緩和ケア協会

NEWS LETTER

ニューズレター

Hospice Palliative Care Japan

特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会

〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1 ピースハウス病院内
TEL 0465-80-1381 FAX 0465-80-1382
Website <http://www.hpcj.org/> E-mail info@hpcj.org



2013年度年次大会に向けて 日本ホスピス緩和ケア協会会員の皆さんへ 協会の財政と組織的基盤を固めよう！

特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会
理事長 志真 泰夫

2013年度年次大会を前にして、協会の当面する課題について会員の皆さんへのメッセージを送ります。協会のこれからの事業や活動の一層の発展を図るために、ぜひご一読ください。

■ 財政の健全化について

2010年以来、わたしは協会事業の「選択と集中」という考え方で、「ケアの質の評価と保証」「会員への教育支援」に力点を置いて運営してきました。その結果として「ケアの質の評価と保証」では、委員会・部会活動が盛んになり、自施設調査の試行を行い、「緩和ケア病棟におけるケアの質の認証制度」の創設も視野に入ってきました。また、「会員への教育支援」では「専門緩和ケア看護師教育プログラム SPACE-N (Specialist Palliative Care Education for Nurses)」の作成と試行が行われ、1日も早く会員に提供できるように作業を進めています。また、その前提として2013年度から各支部単位でのELNEC-J (The End-of-Life Nursing Education Consortium Japan) の開催支援を計画しています。

これらの委員会の開催費用や調査費用にかなりの出費がかかるようになり、2012年度予算は大幅な赤字が予測されました。そこで、今後も増加が予測される協会事業の経費を賄う方策について、1年余りの間総務委員会、理事会で財政のあり方について検討を行ってきました。その結果、協会の財政的な基礎は会員の払う年会費にあること、まずは会員の理解を得て会費によってしっかりした財政の健全化を図ることを確認しました。そこで、第14回理事会に総務委員会から「正会員3万円→5万円」、「準会員(団体)1万円→3万円、準会員(個人)1万円で据え置き」と提案があり、全会一致で承認されました。その後、常任理事会にて会費値上げの実施時期について検討しました。当初は、2014年度から開始という案もありましたが、2012年度決算が赤字とはならない見込みであること、4000万円余りの繰越金があることなどを勘案して、時期を再検討することとしました。

■ 組織的基盤の強化について

協会の財政的な基盤強化とともに、理事会をはじめ

とした組織的基盤の強化が重要です。この2年間、協会の組織整備の取り組みとしては、委員会内の専門部会の設置、理事選出方法の改善などに取り組んできました。今後、評価委員会、健康保険・介護保険検討委員会、教育支援委員会など専門委員会の活動を拡充してゆくためにはホスピス緩和ケアの専門家の参加が不可欠です。健康保険・介護保険検討委員会では、昨年度、診療報酬と介護報酬の同時改定に向けてアンケート調査を行い、それに基づいた厚生労働省への政策提言活動を活発に行いました。これには、専門知識を持った河理事の寄与が大きな力となりました。

今後、協会として独自の活動、事業を推し進めていくためには、施設会員だけで構成された協会では組織力として不十分だとわたしは考えます。ホスピス緩和ケアを専門領域とする医師、看護師をはじめ、この領域に関心を持つ研究者、ジャーナリストなど様々な職種の方々に、個人として準会員に是非加入してもらい、その力を貸していただきたい、と思います。それによって、協会の裾野は広がり、組織的な基盤が強化されると思います。

■ 地域の緩和ケアネットワークと緩和ケア専門外来について

最後に中期事業計画(2013~2015年)のもとでの課題として、「緩和ケア専門外来の拡充」と「地域緩和ケアネットワーク作り」について、問題提起をしたいと思います。2012年度診療報酬改定で「緩和ケア診療加算」を届け出ている病院の緩和ケアチームは、新設の「外来緩和ケア管理料」を月1回300点算定できることになりました。これは、入院患者のみならず外来でも専門的な緩和ケア(以下、専門緩和ケア)が提供できる診療体制の第1歩です。緩和ケア専門外来の具体的役割は、一言でいえば、「苦痛の緩和とQOLの向上に焦点を当てた外来診療」ということです。今後は、緩和ケアチームのみならず緩和ケア病棟を有する病院でも、専門外来をもち外来診療として専門緩和ケアを提供する体制が必要です。

さらに、今回の年次大会では「緩和ケアプログラムによる地域介入研究(OPTIM study)」の成果とそこで示された課題をテーマに講演を企画しています。今後の課題としてどのように「地域緩和ケアネットワーク作り」を発展させるか、会員の皆さんによる忌憚のない討論を期待します。

2012年度 協会の活動状況



緩和ケア週間の様子

啓発・普及活動

「世界ホスピス緩和ケアデー」を最終日とした一週間を「ホスピス緩和ケア週間」とし、ポスターの掲示や、セミナー・見学会・コンサートなどを通して、緩和ケアの啓発普及に取り組んでいます。

2012年度は、全国の施設・団体より99の企画登録があり、一般市民や医療関係者など9,100名あまりの参加がありました。【2013年度日程：10月6日（日）～12日（土）】

教育支援活動

緩和ケアに従事する医師、看護師、ソーシャルワーカーの教育支援について、3つの部会で活動しています。今後は、多職種教育についても取り組んでいく予定です。

◆医師教育支援部会

2010年発行「医師研修指導指針」について、より広く活用していただけるよう、修正作業を進めています。また、緩和ケア病棟における短期研修の検討や、他団体の医師研修・専門医認定制度との調整など、緩和ケアに取り組む医師の教育について検討しています。

◆看護師教育支援活動

緩和ケア病棟看護管理者を対象としたセミナーを定期的に開催するとともに、「専門的緩和ケア看護師教育プログラム（SPACE-N）」の作成作業を進めています。また、「終末期の医療に携わる看護師に必須とされる知識修得のための教育プログラム（ELNEC-J）」の支部での開催を始めました。

◆MSW教育支援

ソーシャルワーカーのための研修を企画、運営するとともに、教材の作成を進めています。



セミナー・講座



年次大会

広報・情報交換

毎年夏に年次大会を開催しています。会員の意見交換の場となる総会の他、講演や分科会を企画しており、2012年度は全国から465名の会員が参加し、情報交換と学びの場を持つことができました。

協会が運営するホームページでは、緩和ケアを受けられる施設のリスト、教育プログラム、求人情報など様々な情報を掲載しています。

緩和ケアの利用を考える方からの電話相談では、「大切な人に良いケアを受けさせたい」という切実な思いが伝わってきます。

質の評価

緩和ケアを行う施設の増加に伴い、ケアの質の維持と向上が益々重要な課題となっています。

協会では、毎年4月に正会員施設の施設概要・利用状況調査を実施し、結果を公表しています。

提供しているケアを自己評価する「緩和ケア自施設評価票」を作成し、2012年度にパイロット調査を行い、2013年度には本調査を実施します。評価結果を受けてケアの質の向上を目指して活動を進めていきます。



支部大会

支部活動

全国に8つの支部（北海道、東北、関東甲信越、東海北陸、近畿、中国、四国、九州）があります。同じ地域で緩和ケアに取り組む会員同士が、情報交換・交流の場を持ち、緩和ケアのネットワーク作りを進めています。

講演会・シンポジウム・セミナーの開催、他の会員施設への研修派遣など、地域の特性を生かした教育活動を進めています。

その他の活動

2012年度年次大会では、診療報酬・介護報酬改定に向けて、協会としてどのような取り組みがなされたかを再確認すると共に、国の医療計画の見直しと協会の今後の活動について、意見交換を行いました。2013年度は、診療報酬の改訂が緩和ケアの推進のためにどのように反映されたかについての調査を実施します。その結果を元に次回の改定に向けた提言を検討し、結果として緩和ケアを受ける患者・家族の利益に繋がるようにしていきたいと考えています。



理事会

2013年度 年次大会のご案内



日時 7月13日(土)・14日(日)

【対象】協会正会員・準会員・賛助会員

【会場】

【参加費】大会参加費：5,000円

懇親会費：5,000円

看護管理者セミナー参加費：4,000円

お弁当代：1,000円(お茶付き)

イイノホール&カンファレンスセンター

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1

<http://www.iino.co.jp/hall/>

Program

7月13日(土)

締め切り
5月24日
(金)

【総会】13:00-14:30

2012年度活動報告・決算、2013年度活動計画・予算について など

【講演】14:45-16:25「緩和ケアの地域ネットワークをどう作るか」

講演1「緩和ケア普及のための地域介入研究(OPTIM study)：成果と浜松での実践」

森田 達也(聖隷三方原病院 緩和支援治療科部長)

講演2「緩和ケアネットワークを作るために地域でできること：プロセス研究と鶴岡での実践」

山岸 暁美(厚生労働省医政局在宅医療推進室 専門官)

【懇親会】17:00-19:00

7月14日(日)

【午前分科会】9:00-12:00

1) 緩和ケア病棟のケアの質評価の実践と活用 評価委員会
に向けた取り組み
-自施設評価の仕組みを中心とした検討-

2) 看護師教育支援 看護師教育支援部会
(専門的緩和ケア看護師教育プログラム)

3) 理想的な緩和ケアチームとは? 山本 亮(佐久総合病院)
-専門的緩和ケア・コンサルテーション 上村 恵一(市立札幌病院精神医療センター)
について一緒に考えてみましょう-

4) 在宅ホスピス緩和ケアと地域医療 前野 宏(ホームケアクリニック札幌)
-OPTIM studyの成果を受けて- 蛭田みどり(ケアタウン小平訪問看護ステーション)

【午後分科会】13:00-16:00

5) ホスピス緩和ケア推進のための政策提言 医療保険・介護保険検討委員会
-診療報酬・介護報酬の同時改定を受けて-

6) 医師教育支援(PCUとPCT) 医師教育支援委員会

7) 緩和ケアとリハビリテーション 関根 龍一(亀田総合病院)
緒方 政美(聖隷三方原病院)
田尻 和英(静岡県立静岡がんセンター)

8) 地域緩和ケアネットワークをどう作るか 石原 辰彦(岡山済生会総合病院)
-OPTIM studyの成果を受けて- 黒岩ゆかり(宮崎市郡医師会病院)

9) 有床診療所における緩和ケアの現状と問題点 土地 邦彦(どちペイクリニック 玉穂ふれあい診療所)
伊藤 真美(花の谷クリニック)

【午前・午後分科会】9:00-16:00

10) MSW教育・共育 Part2(教える・育てる MSW教育支援部会
・共に育む)：チームアプローチ
～院内スタッフとどう組むか～

申込み方法は裏面を参照

年次大会参加申込みについて

4月初旬にお送りした参加申込書に必要な事項をご記入の上、ファックスにてお申し込み下さい。申込書がお手元がない場合は、協会事務局にご連絡いただければお送りいたします。
事前に参加登録され、参加費をお振り込みいただいた会員には、6月1日以降、下記のように対応いたします。

【施設会員の方】同一施設から申し込みのあった方全員の参加登録証をまとめて、申し込み代表者宛に郵送いたします。なお、お弁当を申し込まれた方には、当日名札と一緒に引き換えチケットをお渡しいたします。

【個人会員の方】申込書にご記入いただいた住所宛に参加登録証を郵送いたします。お弁当を申し込まれた方には、当日、名札と一緒に引き換えチケットをお渡しいたします。

※6月17日（月）までに参加登録証が代表者に届かない場合は、至急事務局までご連絡下さい。
※参加登録証は、大会当日必ずご持参下さい。

事務局通信

入会・施設基準届出受理施設について

2013年1月発行のニューズレターでご報告して以降、4月末日までに新たに入会した施設・個人および、施設基準の届出が受理されたとの連絡があった施設は、下記の通りです。

【正会員：緩和ケア病棟入院料届出受理施設】

新入会

- ・ 済生会松阪総合病院（三重県松阪市）
- ・ 星ヶ丘厚生年金病院（大阪府枚方市）
- ・ 兵庫県立加古川医療センター（兵庫県加古川市）

新たに施設基準を届出

- ・ JA北海道厚生連 旭川厚生病院（北海道旭川市）
- ・ 市立芦屋病院（兵庫県芦屋市）
- ・ 社会医療法人天神会 古賀病院21（福岡県久留米市）
- ・ 医療法人 鶴友会 鶴田病院（熊本県熊本市）
- ・ 社会医療法人 友愛会 南部病院（沖縄県糸満市）

【準会員：新入会】

- ・ 岩田 友子（静岡県浜松市）

● 求人広告をご利用下さい ●

当協会では、ホスピス緩和ケアに携わるスタッフの充実をはかり、ケアの質の向上を目指すことを目的として、正会員施設の求人広告をホームページに掲載しています。

利用対象：日本ホスピス緩和ケア協会の正会員

掲載費用：無料

掲載期間：4ヶ月

但し期限以降も継続希望の連絡があれば、引き続き掲載いたします。

▼掲載を希望される場合▼

会員専用ページから登録票をダウンロードし、必要事項を記載の上、事務局まで郵送して下さい。

ダウンロードができない場合は、事務局までお問い合わせいただければ、

登録票をお送りいたします。



ご寄付のお願い

私どもの活動は、協会の事業に賛同し、応援して下さる個人の方、団体からのご寄付によって支えられています。皆様の温かいご支援をお待ちしています。詳細については、以下を明記の上、郵送またはメール・FAXで事務局までお問い合わせ下さい。関係資料をお送りいたします。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ①氏名（法人は法人名と連絡担当者名） | ②住所 |
| ③電話番号 | ④メールアドレス（お持ちでしたら） |

直接お振込みいただく場合、振込先は下記の通りです。

【振込先】三菱東京UFJ銀行 新富町支店

口座：普通預金 3677396

名義：特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会 理事長 志真 泰夫



ご不明な点などございましたら、お電話（0465-80-1381）でも受け付けておりますのでお問い合わせ下さい。